

3月定例会・いくつかの議案について



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

議員報酬引上げと財産処分議案

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

執行部提出の3月定例会議案の中で2つの議案について市民から説明をしてほしいとの意見がありましたので、日本共産党議員団としての見解を掲載します。日本共産党米原市議団は両議案に賛成しました。2つの議案とも、それぞれの市が設置した審議会を経ての議案提出です。それぞれの審議過程や審議結果や資料等は市のホームページに掲載しています。QRコードを掲載していますので、参照下さい。

議員報酬引上げ案について

今回の議員報酬の引上げ、条例は別表のとおりです。議員の報酬を3万円（常任委員長は事務量や責任の度合から1万5千円加算）議長を2万円、副議長を3万円引上げる条例が全会一致で可決しました。

市民からの厳しい意見も

審議会の議事録でも議員の活動について厳しい意見が出されています。また私たちの支持者の中でも多くの市民が物価高で生活に苦しむ中で報酬引上げを問題とする意見も多くありました。日本共産党米原市議団は今まで議員報酬引上げについて厳しい態度で望んできており、以前の市会議員選挙時に反対を公約としていました。今回賛成した理由は次のような理由からです。

第1に、議員活動を保証する意味から低ければ低いほどいいと言う立場は取らない。第2に市民に理解を得られるか。第3に報酬に見合う活動になっているのか。第4に将来を見越した市議会の在り方からどうなのかなど総合的に判断しました。

若い世代が議員となる議案を

直接市民の声も聞きました。「米原市議会は決して高くない。これだけ物価が上がって公務員の人事院勧告も高い、地域手当2%も実施される。また今回の予算で関連する福祉職員の待

遇改善も計上されている点を考えれば理解する」などの意見や「将来的に若者が議会に参加することを考えれば、今でも低い。頑張つて議会活動を行ってもらえば、引上げもやむを得ない」などの意見が多く聞かれました。このような意見は審議会の中でも出ており、今回と答申となったものです。

まじいじい最適な提案と判断

今回の売却はプロポーザル方式で、価格だけでなく、応募者の中から、今後の米原市のまちづくりに最適と考えられる事業者の提案を受けてプロポーザルの審査委員会が評価を行い、随意契約を行うという方式です。応募者は5者で、提案のあった購入価格では次点業者が最高額を提案していました。ただ総合的にプロポーザルの結果審査委員会が積水ハウスのグループを最優秀提案と選定しました。価格の評価は、不動産鑑定価格を最低額として、全体評価点の30%としていました。

米原市から売却案について

賛否が分かれた財産処分議案（賛否結果は前々号）



審議会の審議経過・答申等

	改正前	改正後
議長	400,000	420,000
副議長	330,000	360,000
各常任委員長・議会運営委員長	300,000	345,000
議員	300,000	330,000

は、次点の（仮名イチョウ）の土地評価額は30点となっており、最高評価点のセキスイハウスの土地評価額が19・38点となっています。また、提案の中で積水ハウスのグループの販売価格は、次点業者とは坪3万安く販売するとしています。この処分案については総務産業建設常任委員会が全員一致で賛成していました。詳しくはQRコードに今回のプロポーザル審議会の意見を尊重するとして日本共産党米原市議団は賛成しました。



旧米原庁舎跡地活用事業 審査講評